

遊泳用プール自主点検表

施設所在地 _____

施設名称 _____

メールアドレス _____

施設電話番号 _____

点検日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

点検者氏名 _____

以下の項目について、点検を行い、点検結果の欄に、できている「○」、できていない「×」、該当しない場合には「-」を記入してください。できていない「×」の場合は、改善方法を具体的に記載してください。

点検項目		点検結果	改善方法
1	安全管理 プールの安全標準指針（平成19年文部科学省・国土交通省）に基づく点検を実施していますか。		
2	水質管理 熊本県遊泳用プール等に関する基準の遵守等を定める要項に基づき、プール水の水質管理及び検査を実施していますか。		
3	水質管理 水質検査の結果は3年間保管していますか。		
4	入れ替え式遊泳用プールにおいては、少なくとも5日に1回、プール水の全量を入れ替えていますか。		
5	入れ替え式遊泳用プールにおいて全換水時には、汚染物を換水後の遊泳用プールに移行させないように清掃していますか。		
6	1年のうちの一定の期間に使用する遊泳用プールにおいては、使用開始前及び使用終了後、十分な清掃、設備の点検及び整備を行っていますか。		
7	年間を通じて使用する遊泳用プールにあつては、随時、清掃及び設備の点検整備を行うとともに、必要に応じ水抜き清掃を行っていますか。		
8	プールサイド、更衣室（ロッカーを含む。）、便所その他の利用者が使用する設備は、毎日1回以上清掃するとともに随時点検を行っていますか。		
9	遊泳用プールに使用する消毒剤が、他の薬剤と混和しないよう適切に管理していますか。		
10	プール水の消毒に液体塩素を用いる場合は、塩素ガスの漏出等による危害を防止するため、高圧ガス取締法（昭和26年法律第204号）、労働安全衛生法等の関係法規を遵守し、適切に管理していますか。		
11	浄化設備は原則として1日中運転し、ろ材の洗浄又は交換を随時行っていますか。		
12	浄化設備が運転時間内で浄化の目的を達成できる能力を有しており、夜間やむを得ず運転を停止する場合等にあつては、水質検査等を適宜行うことにより、水質の状況変化を詳細に把握していますか。		
13	循環ろ過装置の出口の濁度の検査を行うことにより、浄化設備が正常に稼働していることを確認していますか。		
14	プール水の循環系統は随時清掃し、常に清浄を保っていますか。		
15	新規補給水量を常に把握し、新規補給水と循環水の割合に注意していますか。		
16	オーバーフロー水を再利用する場合には、十分な浄化及び消毒を行っていますか。		
17	シャワー水に用いる洗浄水については、利用者の快適かつ効果的な洗浄に供するため、温水を使用する等、洗浄水の温度を適温とする措置を講じていますか。		
18	プール水、シャワー水等の排水に当たっては、環境保全に十分配慮していますか。		
19	屋内の遊泳用プールについては、上屋内の空気中の二酸化炭素の含有率が0.15%を超えないこととし、2月以内ごとに1回、定期的に測定を行っていますか。		
20	空気中の二酸化炭素の含有率の測定方法は、施設内の適切な場所を選び、床上75cm以上、150cm以下の位置において検知管方式による二酸化炭素検定器又はこれと同等以上の性能を有する測定器を用いて行っていますか。		
21	二酸化炭素濃度が、基準に適合しているか否かの判定は、測定日における使用開始時から中間時まで、中間時から使用終了時までの適切な2時点において測定し、その平均値をもって行っていますか。		
22	消毒剤及び遊離残留塩素濃度の測定に用いる試薬及び測定機器等は、適切に管理し、その機能の維持等についても十分注意していますか。		
23	遊泳用プールの使用時間終了後は、直ちにプール設備及び付帯設備を点検し、衣類の残留その他の異常の有無を確認するとともに、人や動物がみだりに立ち入らないような措置を講じていますか。		
24	気泡浴槽、採暖槽等の設備その他のエアロゾルを発生しやすい設備又は水温が比較的高めの設備がある場合は、「循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル（平成13年9月11日付け健衛発第95号厚生労働省健康局生活衛生課長）等を参考にして、適切に管理していますか。		
25	No.24の設備の中の水について、レジオネラ属菌の検査を年1回以上行い、レジオネラ属菌が検出されないことを確認していますか。		

＜裏面あります＞

26		遊泳を通じて人から人に感染するおそれのある感染症にかかっている者、泥酔者及び他の利用者に迷惑を及ぼすおそれがあることが明らかである者には、遊泳をさせていませんか。		
27		単独で遊泳用プールの利用が困難な者には付添者を求めていますか。		
28		水質の維持管理等の参考とするため、利用者数を常に把握していますか。		
29	利用の管理	遊泳前及び排便等によりプールサイドを離れた場合に、シャワー等による身体の洗浄を十分に行わせていますか。		
30		唾液やたんを遊泳中に処理するためのオーバーフロー溝を設けている場合を除き、オーバーフロー水にだ液やたんを吐かせないようにしていますか。		
31		他の利用者に危害を及ぼし、又は遊泳用プールを汚染するおそれのあるものを遊泳用プールに持ち込まないようにしていますか。		
32		飲食物等をプールサイドへ持ち込む場合には、遊泳用プールを汚染しないようにさせていますか。		
33		遊泳者等の衣類及び携帯物が安全かつ衛生的に保管できるようにしていますか。		
34	その他	プール管理日誌を作成し、使用時間、気温又は室温、水温、新規補給水量、水質検査結果、設備の点検及び整備の状況、利用者数、事故の状況等を記録し、これを3年以上保管していますか。		
35		遊泳用プールに起因する疾病等が発生した場合は、直ちに管轄の保健所に通報し、その指示に従っていますか。		
36		事故発生時には直ちに関係機関に通報するとともに速やかに保健所に報告していますか。		
37		水着その他直接肌に接するもので遊泳者に貸与するものは、あらかじめ消毒し、清潔にしていますか。		
38		不特定多数の者が使用するもの（ビート板等）についても、必要な衛生的管理（洗浄・消毒等）を行っていますか。		
39		今年度又は前年度の熊本県水泳プール安全管理講習会を受講していますか。		

<添付書類>

- ・ プール施設設備の使用期間前点検表（写し）
- ・ 直近の遊泳用プール水質検査結果（写し）

点検日時点の、管理責任者及び衛生管理者について記載ください。

管理責任者の氏名：
衛生管理者の氏名：

上記のとおり相違ないことを、証明します。

年 月 日

設置者の住所 _____

設置者の氏名
(法人の場合は、法人名称及び代表者職氏名) _____